

Q3 九九がなかなかおぼえられません

【考えられる背景】

- 聴覚系認知に課題がある
- 記憶に課題がある

【支援への手がかり】

☆ 視覚的な支援を取り入れる

九九表や九九カードを持たせることにより、安心感が生まれ、落ち着いて学習できることも考えられます。また、写真のような教材を用いて、自分で唱えながら、あるいは指導者が唱え、答えを出していく方法は、子ども自身が目で確認しながら進めることができます。



☆ 九九カード等の活用

九九カードを使ってカルタをします。指導者が読み上げ、子どもがカードを取っていく、またその反対など役割を交代して進めます。聞くことに集中し、視覚的にも確認できます。

☆ リズムやメロディで覚える

聴覚系認知に弱さを見せる子どもは、似た音を聞き誤るということがあります。例えば、4の段、7の段、8の段です。九九の歌を活用しながら、リズムやメロディーで覚えていく方法も取り入れてみましょう。

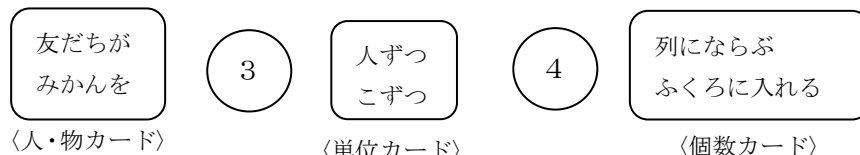
☆ 九九の意味理解をする

式から問題を考える

①九九カードをもとに、言語化する

$3 \times 4 = 12$ 「3が4で12になる。」

②お話を作る（ことばを選択できるようまとめたカードを提示する）

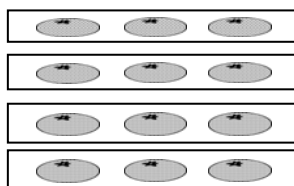


③問題文を作る

「みかんを3こずつ4ふくろに入れます。全部で何こになりますか。」「12こ」

具体的なものから式を考える

○絵カードを見て、言語化していく。



「一列にみかんが3こあります」

「それが4列あります」

「全部で12こになります。これは $3 \times 4 = 12$ とあらわします」

九九を唱えることのみに力を入れてしまうと、なかなか暗唱できない子どもにとっては苦手意識ばかりが強くなってしまいます。視覚情報も与え、九九の意味も理解させながら進めていくことが大切です。